

6月8日（日）ペンテコステ礼拝レジュメ 使徒の働き 1章4節

4節の父の約束とは、5節の「聖霊によるバプテスマを授けられる」8節「聖霊があなたがたの上に臨む」ということ。そのことが賜物としての聖霊が注がれることで成就した。

① ルカの福音書 24章49節「見よ。わたしは、わたしの父が約束されたものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き方から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」聖霊によるバプテスマであるとか、聖霊があなたがたの上に臨むとは、いと高き方の力が着せられるということの意味している。

② イザヤ書 32章15節「しかし、ついにいと高き所から私たちに霊が注がれ、荒野が果樹園になり、果樹園が森とみなされるようになる」

③ イザヤ書 44章3～5節「わたしは潤いのない地に水を注ぎ、乾いたところに豊かな流れを注ぎ、わたしの霊をあなたの子孫に、わたしの祝福をあなたの末裔に注ぐ。彼らは流れのほとりの柳の木のように、青草の間に芽生える。ある者は『わたしは主のもの』と言い、ある者はヤコブの名で自分を呼び、ある者は手に「主のもの」と記してイスラエルの名を名乗る。」

④ エゼキエル書 11章19、20節「わたしは彼らに一つの心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を与える。わたしは彼らのからだから石の心を取り除き、彼らに肉の心を与える。こうして、彼らはわたしの掟に従って歩み、わたしの定めを守り行う。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。」父の約束としての聖霊が下るということは、神様と神の民の関係が変えられるということ。

⑤ エゼキエル書 11章20節では「こうして、彼らはわたしの掟に従って

歩み、わたしの定めを守り行う。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。」聖霊が注がれることで、人々の心が変わられ、民が変わられる中で国全体が変わられ、そして神と神の民の関係が変わられる。私たちに与えられている聖霊に私たちが従っているか。

⑥ 「しかし、もし神の御霊があなたがたのうちに住んでおられるなら、あなたがたは肉のうちにではなく、御霊のうちにいるのです。」(ローマ人への手紙 8 章 9 節)

⑦ 「あなたがたは自分が神の宮であり、神の御霊が自分のうちに住んでおられることを知らないのですか。その聖霊の語りかけに従うかどうか。

⑧ ルカの福音書 3 章 1 6 節で、「私は水でああなたがたにバプテスマを授けています。しかし、私よりも力ある方が来られます。私はその方の履き物のひもを解く資格もありません。その方は聖霊と火で、あなたがたにバプテスマを授けられます。」

「エルサレムを離れないで」

⑨ 詩篇 1 3 2 篇 1 3 ~ 1 5 節で「主はシオンを選び それをご自分の住まいとして望まれた。これはとこしえに わたしの安息の場所。ここにわたしは住む。わたしがそれを望んだから。わたしは豊かにシオンの食物を祝福しその貧しい者をパンで満ち足らせる。」シオン=エルサレムの別名。「神の住まわれる主の山」

エルサレム神殿は破壊され、神宮の器の一部も略奪され、エルサレムでイエス様は不当な裁判にかけられ、十字架につけられ、そこで人類の贖いを成し遂げられた。そこから信仰による新しい神の民が生み出される。

⑩ イザヤ書 6 5 章 1 8 節「見よ。わたしはエルサレムを創造して喜びとし、その民を楽しみとする」

⑪ イザヤ書2章3節には「多くの民族が来て言う。「さあ。主の山、ヤコブの神の家に上ろう。主はご自分の道を私たちに教えてくださる。私たちはその道筋に進もう。」それは、シオンからみおしえが、エルサレムから主のことばが出るからだ。」8節にありますように、エルサレムから証人としての使徒の働きが始まっていく。

ペンテコステは、まさに父なる神の約束の成就であり、本来祝福が約束されていたにもかかわらず罪深い町であったエルサレムにおいてなされた。主は、祝福を約束された者を決して捨てることのない真実さをペンテコステの出来事の中にも見ることができる。そして罪深い私たちを変えてくださる聖霊のみわざに期待したい。